

横浜型小中一貫教育 港南中ブロック

(ブロック校) 港南中学校、桜岡小学校、吉原小学校

平成24年度より、横浜市の小学校・中学校では、全142ブロックに分かれて『横浜型小中一貫教育』が全面的にスタートしました。

3年目を迎えた今年度も、3校で取り組んだ様々な活動を通して、一貫性を図った教育活動を推進するとともに、児童生徒間、教職員間の相互理解をさらに深めることができました。



児童生徒交流



港南中学校の文化祭では、窓ガラス一面にスタンドガラスを貼り、点灯式を行います。ブロック内の小学校はもちろん、近隣の学校がスタンドガラスを作成し、展示しています。夏休みには、スタンドガラスの作り方を中学生が小学生に教える講習会も行いました。10月21日(火)の点灯式には、地域の方々がたくさん集まり、美しいスタンドガラスの明かりを楽しんでいました。

また、港南区子どもフォーラムにも3校合同で参加しています。住みよい、美しい町を目指して、地域のお祭りや公園などの清掃活動やポスターを作成・掲示し、呼びかける啓発活動に取り組んでいます。11月末には、港南公会堂にて活動報告会が行われます。

合同授業研究会と合同研修会

子どもたちの学力向上を図るとともに、小学校と中学校、それぞれの教科指導や児童生徒指導の良さを生かし、指導の一貫性を目指して合同での授業研究会や研修会を開きました。

今年度は、6月に桜岡小学校の授業を参観し、小学校の授業形態や指導法の良さに目を向け、全体で共有しました。また、8月には、港南中学校で保護者との適切な対応について研修を行いました。実際にあったトラブルの原因について考えたり、保護者と教職員の意思疎通や普段からの連携がどんなに大切なのかを話し合ったりしました。明日からでもすぐに活用できる収穫の多い研修会になりました。